

【資産の種類】 以下の数字で記入してください。 1＝構築物，2＝機械及び装置，3＝船舶				種類別明細書(増加資産・全資産用)										電算処理する場合の		所 有 者 名		1 枚のうち 1 枚目	
鹿嶋 太郎																			
行 番 号	産 種 類	資 産 の 種 別	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 号	取 得 年 月	取 得 価 額	耐 用 年 数	減 価 率	価 額	課 税 標 準 の 特 例	増 加 事 由	摘 要						
01	1		駐車場アスファルト舗装	1	1	9							【摘要】 課税標準の特例や増加償却などに該当する場合にはその旨を記入してください。 資産の価格の決定について必要な事項がある場合や、資産が増加した事由						
02	1		テナント内装工事	1	3								【取得価額】 当該資産の取得価額を記入してください。 数量が2以上の場合には単価ではなく、合計額を						
03	6		テレビ	1									【耐用年数】 所得税および法人税における耐用年数						
04	6		パソコン	2	5	1 9	250 000	4	0.				【増加事由】 該当する増加事由を記入してください。 1＝新品取得 2＝中古品取得 3＝移動						
05	6		事務机	2	5	1 10	200 000	15	0.										
06	6		応接セット	1	5	1 11	200 000	8	0.										
07	6		エアコン	1	5	1 9	250 000	6	0.										
08									0.										
09									0.										
10									0.										
11									0.										
12									0.										
13									0.										
14									0.										
15									0.										
16									0.										
17									0.										
18									0.										
19									0.										
20									0.										
小計				9			6 200 000	※増加分 ※減少分											

注意 ※印欄は記入しないでください。
「資産の種類」の欄は、1:構築物 2:機械及び装置 3:船舶 4:航空機 5:車両及び運搬具 6:工具、器具及び備品 のいずれかを選択してください。
「取得年月の年号」の欄は、大正は2、昭和は3、平成は4を選択してください。
「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかを選択してください。
資産が多く書ききれない場合にはシートをコピーして使用して下さい。